

嶺っ子供い 2月



令和5年2月6日
那覇市立石嶺小学校
校長 砂川 深雪

立春…春の訪れ



「1月行く・2月逃げる・3月去る」の言葉のように、あっという間に立春を迎えました。立春は二十四節気最初の節で暦の上では春が始まる日を言います。校内の桜にも春の息吹を感じられる頃となりましたが、朝夕の冷え込みはまだまだ続きそうです。今年は新型コロナウイルス、インフルエンザ等も流行っています。日々、手洗い・うがい・十分な睡眠と栄養・人込みを避けるなど健康観察・健康管理に留意しましょう。

また、今月は、当該学年までの学力の到達状況を把握する全県一斉の学力到達度調査が高学年で実施されます。低学年も繰り上がり・繰り下がり、かけ算の計算、漢字の読み書きが反射的に直ぐに処理できるよう反復練習に励み、既習内容の定着とその自信をもとに学年の締めくくりにも力を発揮させたいと思います。皆様の御支援をよろしくお願いいたします。

心のオニをたいじしよう



【げんか おに】 【おしゃべり おに】 【なきむし おに】
ともだちがいやがわたしはおしゃべり ならないために
るようなことをしおにがこころのなかに がまんする。おこ
ない。いっしょにいます。いつもたいい られるようなこ
あそんであげる。くのとくにいつもしゃ どうはしない。な
ともだちのわるく べっていますからぜっ かないためになき
ちをいわない。 たいおしゃべりおにを むしおにをたいじ
たいです。 だしたいです。 する。



【すききらい おに】
わたしはヤサイをいつもさいごにたべてしまうことがあります。いつもさいごにやさいをたべてしまつてじかんがなくなつていそいでたべちゃうことがあります。なのですききらいおにをそとにおいはらいたいです。



【ねぼう オニ】
はやくねて、はやくおきて、はやく学校にとうこうするぞ
~~~~~  
1年教室掲示より

節分にちなんで、1年生は、自身をふりかえり、自分の心のオニを退治するため、どのようにしたらよいのか考えることができました。自分の心がけで「福は内!!」にしていきたいと思います。

## 赤い羽根共同募金

児童会の呼びかけで、

嶺っ子一人一人が貯めた各自のドラえもん貯金箱を持ち寄り、募金を集めると総額63,643円になりました。那覇市社会福祉協議会の方が1/25に来校され、児童会から募金贈呈を行い、石嶺小への感謝状、募金の由来と使われ方の紹介がありました。嶺っ子の優しい気持ちが社会のために役立ちます。これからもおもしろいやりかたの心を大切にしたいですね。



## 心♡のスイッチ

2/1 お話朝会では、「落～ちた落ちた」

のゲーム後に、東井義雄さんの「心のスイッチ」を紹介しました。ゲームは「聞こう」という心があつたので、楽しく取り組むことができました。

人間の目は ふしぎな目  
見ようという心がなかつたら 見ているも見えない  
人間の耳は ふしぎな耳  
聞こうという心がなかつたら 聞いていても聞こえない  
頭もそうだ  
はじめからよい頭 わるい頭の区別があるのではないようだ  
「よし やるぞ!」と心のスイッチがはいると  
頭も すばらしいはたらきを しはじめる  
心のスイッチが 人間を  
つまらなくもするし すばらしくもしていく  
電灯のスイッチが  
家の中を明るくもし 暗くもするように

「心のスイッチ」をいれるのは、自分です。嶺っ子一人一人が「よし やるぞ!」というやる気をもって笑顔でチャレンジし、自分の可能性をさらにのばしてほしいと応援しています。

## 自然教室 1/24 1/25



5年生が、自然教室で石川岳登山にチャレンジ! 大寒波でしたが強風も心地よく、山道を仲間と励ましの声をかけ合い、全員、自分の足で頂上まで登り下山することができました。努力がなければ、単に山が見えるだけですが、一步一步、前へ進み、歩き続け、登山に自分自身にあきらめることなくチャレンジしたからこそ味わえる喜びです。「やればできる!」と大きな自信、素晴らしい体験になりました。3年ぶりの宿泊で、翌日の野外炊飯でも、仲間とともに美味しいカレーを作り片付けまでよく頑張りました。5年生の達成感と笑顔を間近で見ることができ楽しく嬉しい思い出となりました。

行事は 教科書だけでは学べない 仲間と一つのことを成し遂げる成就感や辛い・楽しい思い出も心の成長に繋がります。また、自然に親しみ、自然を愛する心、強い心、強い体を育て、友達同士・先生方とのより信頼関係を深めるよい体験でした。

## 委員会引継ぎ

2/8 児童朝会で各委員会委員長の6年生から5年生へ各委員会活動で使用する物などを手渡す様子を放映します。自然教室翌日も責任をもって活動した5年生の姿、頼もしいです。

